

小児がん・若年がん罹患者の妊孕性（精子保存・卵子保存）に

保険適用を請願する署名

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
衆議院議長 殿
参議院議長 殿

2019年 月 日

近年、先進的ながん医療によって、多くの若いがん罹患者が治癒や寛解に導かれ、学校や仕事や地域活動に復帰できています。ただ、治る可能性が大きくなった現状は幸いですが、治療開始の折に医師から「治療の副作用で不妊になる可能性がある」と告げられます。若い患者とその家族は、身に降りかかったがん発症の事実をなんとか受け入れ、示された治療法によって生きて、何とか前へ進もうとしている時、重い副作用の1つとして不妊の可能性が示されることになります。それでも「時間的・症状的に余裕があれば、治療開始前後に妊孕性温存（精子保存、卵子保存）ができるかもしれない」とも加えられます。医師から告げられる「妊孕性を温存の可能性」は、辛い治療に耐えて未来に向かって生きるための力となります。

しかし、妊孕性温存は自由診療のため、精子保存では5万円、卵子保存は約50万円近い高額です。若いがん罹患者は経済的に未熟な人も多く、がん診断で唐突に掛かり始めた医療費にも苦慮する人も少なくない年代です。また小児や未成年のがん罹患者の場合、教育費も掛かり続けている時期です。

どうか小児がん・若いがん罹患者が費用で迷うことなく、保険適用のがん治療の一環として、妊孕性温存の機会が活かされますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人血液情報広場・つばさ 理事長 橋本明子 <http://tsubasa-npo.org/>
妊孕性（精子・卵子保存）保険適用を目指す会 代表 後藤千英 <https://ninyousei.net/>

NPO 法人血液情報広場・つばさ 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533 早稲田大学前郵便局々留 tel 03(3207)8503

請願署名：小児がん・若年がん罹患者の妊孕性（精子・卵子保存）に保険適用をお願いします。

氏名	住所

*フルネーム、自書、に限られます。*未成年でも、可です。*住所も各自で、「//」ではなく、あれば枝番まで含めてそれぞれでお書きください。

*ご署名を、つばさや目指す会に保存することはありません。全て提出しますのでご安心ください。またコピーを残すこともしません。

お願い

この度は「小児がん・若年がん罹患者の妊孕性（精子・卵子保存）に保険適用を請願する署名」にご協力いただき、ありがとうございます。

* 本署名用紙は、つばさに郵送してください。

集めていただいた署名をコピーしてお手元に残される場合、コピーの方をお手元に、自筆署名の方をお送りください。提出するものとして、コピーは無効です。

但しつばさと進める会はいただいた署名をコピーせず、全て提出します。

* なお、各署名用紙が必ずしも10名で埋まらなくても大丈夫です。5名の用紙、3名の用紙、10名の用紙などで計7枚、ということでもかまいません。つばさと目指す会とできちんと集計して束にして、お願いします。

※郵送された各封書は、直ぐにはではなく、ある程度まとめてボランティアさん達と開封することになります。お手紙や送り状等を同封していただいた場合お気遣いは嬉しいのですが、お返事は出せないと思います。ご了承ください。

* つばさも目指す会もスタッフはとても少人数で頑張っております。こちらから用紙を郵送でお送りする手間と費用を最小限にしたいと、周囲に署名を呼びかけていただけようでしたら、最初にコピーしてお手元に予備を確保してください。

* あるいは、目指す会のサイトからダウンロードしていただければありがたいです。

* 第一回の集計は2019年11月末日とさせていただきます。妊孕性に関する各方面の動向によって、第二次署名活動をお知らせいたします。

つばさ・橋本明子/目指す会・後藤千英

送り先：特定非営利活動法人 血液情報広場・つばさ

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 533 早稲田大学前郵便局々留 tel 03(3207)8503

▼NPO 法人血液情報広場・つばさ 公式ホームページ



<http://tsubasa-npo.org/>

▼妊孕性(卵子・精子保存)の保険適用を目指す会 公式ホームページ



<https://ninousei.net/>

▼妊孕性(卵子・精子保存)の保険適用を目指す会 公式ツイッター



<https://twitter.com/ninousei>